ふるどの



第10回やぶさめカップ争奪ソフトボール大会は9月22日(火)に古殿町民グラウンドで開催され、古殿スポーツ少年団が見事優勝。

議会だより

9月定例会

No.177
古殿町議会
令和8年10月20日

令和7年度一般会計の決算審議…… 2〜4
一般質問：人口減少対策など7議員が14問…… 9
追跡レポート：中学校のトイレ改修…… 17
まちの企業紹介：有限会社 しんよし…… 18

一般会計決算の認定

9月定例会は11日から17日の7日間の会期で開催された。
令和7年度の決算審議や教育委員会委員の任命の人事案件など、20議案が原案のとおり可決された。

歳　入　51億3,759万円

- 町民の給与の上昇等により町民税が2,975万円増加した。
- 物価高騰対応臨時交付金が3,034万円増加した。

歳　出　49億5,682万円

- 主要事業は道の駅ふるどの拡張事業、ふくしま森林再生事業、町営住宅前木団地建設など。
- 給与改定による人件費が増加した。

貯　金　43億7,592万円

- 積立基金は大網庵かやぶき屋根改修工事や流鏑馬保存事業などに充てられた。

借　金　49億2,538万円

- 町債は道路の改良や町営住宅前木団地建設などに充てられた。

滞納額　5,825万円

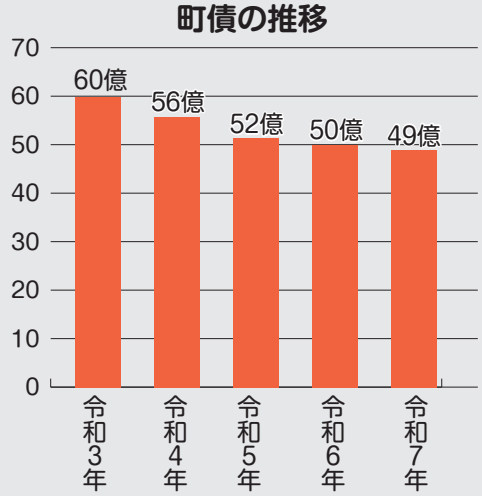
※過年度分も含む

• 町民税、固定資産税、軽自動車税	2,014万円
• 住宅使用料、大網庵使用料	706万円
• 国民健康保険税	2,777万円
• 介護保険料	274万円
• 後期高齢者医療保険料	11万円
	など



町を支える大切な財源
きちんと納めましょう

しみもっちー



9月定例会　令和7年度

町の財政は大丈夫？

経常収支比率　90.0%※昨年度より2.2ポイント改善

町の収入のうち、必ず支出しなければならないお金の割合。この数値が100%に近づくと、財政的な余裕がない状態となる。

実質公債費比率　7.8%※昨年度より0.7ポイント改善

税金や地方交付税などの町の収入が、どのくらい借金の返済に使われているかを示す値。18%以上になると新しい借金をする際に国や県からの許可が必要になる。



屋根が改修された大網庵

主要な事業

民生費 **10億5,314万円**	子ども子育て支援事業	851万円
	赤ちゃん誕生祝金	145万円
総務費 **9億4,643万円**	行政区運営事業	611万円
	ふるさと納税等寄付受付事業	1,407万円
土木費 **9億1,774万円**	町道下論田鵙巣線道路改良	1億2,838万円
	町道越代熊倉線道路改良	9,282万円
商工費 **2億4,412万円**	大網庵かやぶき屋根改修	1,320万円
	道の駅ふるどの拡張事業	8,468万円

（7,600万円は令和8年度に繰り越した）

監査の意見

○町税以外の財源確保を…ふるさと納税、やぶさめアリーナ、大網庵、町民水泳プール使用料などの自主財源確保にも積極的に取り組むこと。

○業務の見直し…人口減少などの諸問題に対して事業の選択や見直しが必要となる。委託契約等の妥当性や競争性に関して再検討も必要。

○行政内部の構造改革…公共サービス・インフラの最適化を図り、将来にわたって柔軟で持続可能な行政運営に努めてほしい。



代表監査委員
佐川（さがわ）　重俊（しげとし）氏



監査委員
根本（ねもと）　重一（しげかず）氏

決算内容を検証



敬老会の在り方は

Q 敬老会の現状はどうか。

A 令和8年度の申込者は134人で、招待者988人中13・5％の出席率。令和7年度の経費は435万、そのうち式典やアトラクションは197万円の決算となっている。

Q 参加者は減ってきている。例えば各地区で行うなど参加者の移動負担を減らしたり、規模を縮小して、祝金を増額したりする検討はしているのか。

A 敬老者のバス送迎を行っており、移動の負担はないと考える。見直しにどういう選択肢があるのかを示していただければ検討したい。



水道料金は適正か

Q 簡易水道事業では水道料での収益が不足し、一般会計からの繰出金でまかなっている状況だ。料金の値上げは検討しているのか。

A 平成10年から料金の変更はしていない。料金の見直しに向けて準備を始めた。

ふるさと納税の見直しを

Q ふるさと納税が6年度より減額した理由は。

A ふるさと納税仲介サイトのポイント制が年度途中からなくなったことも原因の一つだと考える。

Q 仲介サイトの手数料見直しも始まっている。それを踏まえて事業者選定の見直しを行うのか。

A 手数料の低い事業者にも依頼していきたい。

討論

反対　責任ある対応を
岡部　淳一　議員

兼業農家への支援として農業機械導入支援が必要であることや、予算計上していたデマンドバスの運行委託が進まなかったこと、道の駅拡張工事の変更契約があり、工事が当初の計画のとおりに進捗しなかったことから、責任ある対応が求められるとして反対する。

賛成　生活福祉の向上に寄与
鈴木　隆　議員

この決算は議決された予算に対する決算であり、全町民の生活の福祉向上に有効である。財源が乏しい中で実質収支は黒字であり、適正な運営と認められるため賛成する。

※ほかにも野崎喜彦議員によるデマンド交通の進捗と道の駅拡張工事の変更契約に対して一部反対の立場で討論があった。

起立多数　可決

その他の議案

令和8年度一般会計第2次補正予算
5,102万円の増額補正

赤ちゃん誕生祝金などで予算超え

歳入は普通交付税8734万円や物価高騰対応臨時交付金493万円などの増額、歳出は赤ちゃん誕生祝金110万円、飲料水確保対策事業補助金150万円などを増額する。

物価高騰対策臨時交付金

Q 国からの物価高騰対策臨時交付金493万円で商品券の配付はしないのか。

A 議論にはなったが、金額が大きくないため交付金の推奨メニューや過去の取組などを考慮し、利子補給事業やこども園の給食の材料費に充てる。

旧大原小学校跡地

Q 土地売払収入として359万円が計上されているが、どこの土地か。

A 旧大原小学校跡地を売却した。

Q 入札した際の設計額と、売渡し価格の差が大きい。入札の際の設計価格に手違いがあったのか。

A 現況に合わせて分筆の見直しをした。一部を宅地に、一部を雑種地として算定した。

町道越代熊倉線の工事請負契約

町道越代熊倉線の道路改良工事について、株式会社佐川建設と1億252万円で工事請負契約を締結する。

Q 当初予算で計上していた工事だがこの時期に契約となったのはなぜか。工事の内容と工期は大丈夫か伺う。

A 令和7年度の繰越工事を行っているためこの時期の契約となった。内容は全区間の表層舗装工事である。工期に関しては問題ない。



表層舗装工事をする町道越代熊倉線

人事案件

任期満了となる委員の再任に同意した。

教育委員会委員



渡邉（わたなべ）　家伸（いえのぶ） 氏

住所　松川字横川

任期　令和8年10月8日から
令和12年10月7日

人権擁護委員



鈴木（すずき）　一美（かずみ） 氏

住所　松川字大原

任期　令和9年1月1日から
令和11年12月31日

9月定例会　議案審議と各議員の賛否

全会一致で可決した議案

議案番号	議案名
議案第52号	**議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例**
	引用条文の修正を行う
議案第53号	**古殿町税条例の一部を改正する条例**
	地方税法の一部改正による改正
議案第54号	**古殿町特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例**
	国の税制廃止に伴う条例の廃止
議案第55号	**古殿町税特別措置条例等の一部を改正する条例**
	福島県税特別措置条例等の改正に伴う改正
議案第56号	**古殿町辺地総合整備計画の変更について**
	大久田辺地の計画を変更する
議案第57号	**人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて**
	鈴木一美氏を再任する（P5に掲載）
議案第58号	**教育委員会委員の任命について**
	渡邉家伸氏を再任する（P5に掲載）
議案第59号	**令和8年度古殿町一般会計第2次補正予算**
	普通交付税決定などにより5,102万円を増額する（P5に掲載）
議案第60号	**令和8年度古殿町国民健康保険特別会計第2次補正予算**
	職員給与等の減額などにより4万円を減額する
議案第61号	**令和8年度古殿町介護保険特別会計第2次補正予算**
	繰越金などにより2,067万円を増額する
議案第62号	**令和8年度古殿町後期高齢者医療特別会計第1次補正予算**
	繰越金などにより793万円を増額する
議案第64号	**令和7年度古殿町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について**
	歳入6億4,860万円、歳出6億1,678万円
議案第65号	**令和7年度古殿町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について**
	歳入8億7,603万円、歳出8億5,643万円
議案第66号	**令和7年度古殿町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について**
	歳入6,668万円、歳出6,660万円
議案第67号	**令和7年度古殿町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について**
	歳入3,054万円、歳出0円
議案第68号	**令和7年度古殿町簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定について**
	収益的収入1億424万円、収益的支出1億183万円、資本的収入6,318万円、資本的支出7,375万円
議案第69号	**令和7年度古殿町下水道事業会計歳入歳出決算の認定について**
	収益的収入1億7,786万円、収益的支出1億7,796万円、資本的収入2,533万円、資本的支出3,401万円
議案第70号	**工事請負契約の締結について**
	町道越代熊倉線道路改良工事を1億252万円で株式会社佐川建設が落札（P5に掲載）
議案第71号	**和解について**
	介護保険料賦課誤りによる損害について、受託者である株式会社福島情報処理センターの支払う和解金10万円で合意するもの（P7に掲載）

賛否が分かれた議案

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	採決	根本重一	根本太郎兵衛	鈴木隆	野崎喜彦	佐川勇司	佐藤一夫	岡部淳一	木戸久康	松崎法通	緑川栄一
議案第63号	**令和７年度古殿町一般会計歳入歳出決算の認定について** 歳入51億3,759万円、歳出49億5,682万円 （P２～４に掲載）	認定	○	○	○	○	○	○	×	○	○	

議会 全員協議会

新しい道の駅オープンまでの工程が提示され、
その内容について協議をした。

道の駅は令和10年度にオープン

令和8年度中に造成工事を完了させ、年度途中から建築工事に着手する。建築工事は15か月程度を想定しており、外構工事や施設内の備品調達等を含めて、令和9年度中の完成を予定している。令和10年度の早い段階でグランドオープンを目指す。

Q 工事の進捗は順調か。

A 工程会議の確認では問題ない。

Q 飲食スペースの出店者はどうなっているか。

A 5件の希望があり、事業計画書を精査し、今年度中に決定したい。

Q コンセプトはあるか。

A 「地元のもの」を使った料理で産業振興につなげたい。

Q 駅の改修によって何を打ち出すのか。

A 「地域創生の拠点」となるよう、情報発信により地域交流の活性化を図りたい。



現在の道の駅工事の状況
(令和８年10月８日撮影)

介護保険料の賦課(ふか)誤り

令和8年度介護保険料で介護保険システムに一部誤りがあり、38万3904円足りなかった。それによって15件の追加徴収が必要となった。職員が自宅訪問して説明し、差額納付に理解いただいた。

介護保険システムの誤りは委託会社（株）福島情報処理センターの設定誤りによるもので、今後このようなことがないよう協議した。

Q 委託業者の誤りか。

A 相手方のミスであると考えている。

Q 和解金額の算定は。

A 町で負担した額は5万2141円で、慰謝料を加味した10万円となった。

Q 和解金が安いのでは。

A 3班体制で対応したが、2～4時間の時間外であった。

旧大原小学校跡地の売払い

旧大原小学校跡地の敷地（1万2363平方メートル）と体育館（640平方メートル）を360万円で株式会社みくにへの売却契約を締結した。

令和8年3月10日の条件付一般競争入札では不落だった。今回、設計価格を現況に合わせて見直した。宅地部分と雑種地部分に分けて算出し、随意契約による見積合わせを行った。

Q 地目を変えて固定資産税に変更はあったか。

A 現況に合わせて宅地と雑種地で分けて算定する。

Q 入札から随意契約にした理由は。

A 入札が原則だが、条件を満たせば随意契約も可能である。

Q 公有地の有効活用としてはよいが、補正に上げる前に報告してほしかった。

A 報告が遅れて申し訳ない。

委員会の活動

産業建設常任委員会
最新式の農業ハウスを視察

産業建設常任委員会は農業ハウス（大久田字蕨草）や解体予定の高房青少年自然の家、旧大原小学校跡地などを調査した。

最新式のパイプハウスは自動で水やりや追肥を行う水耕栽培で、スマート農業による省力化が期待されるとの意見が出た。



ミニトマト栽培の省力化

議会だより編集委員会
山形県最上町で議会だよりづくりを学ぶ

議会だより編集特別委員会は7月22日に最上町議会で議会だよりの紙面づくりについて研修を行った。

研修を受けて、今回からシンプルに伝えられるデザインとし、より町民の皆さんが興味を持てる内容を厳選した。



伝えるためのコンセプトが重要

議会トピックス①

竹貫稲荷神社祭典　10月4日（日）、竹貫区、子供会育成会を中心に五穀豊穣や商売繁盛を願ってのおみこし行列があり、竹貫区内全域がお祭りムードであった。前日には神社参道の清掃などで区内の役員の方々にはご苦労をかけたが、子どもたちの健全な育成を願って行われた。（松崎法通）



一般質問

町政を質す

- 町民の声を伝える
- 町政に生かす
- 町の考えをただす

9月15日、16日に7人の議員が14問の一般質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

野崎喜彦 議員……10
(1)令和8年度の主な事業の進捗を問う
(2)防災力の強化と災害対応について

鈴木　隆 議員……11
(1)業務委託の考え方について
(2)今後の道路維持の考え方について
(3)町行政事務のDX対応状況と職員の充足に対する考えについて

根本重一 議員……12
(1)本町の人口減少対策について
(2)情報公開と情報発信について
(3)本町の公共インフラの維持管理について

松崎法通 議員……13
(1)道の駅拡張工事、事業費とオープンまでの道筋は
(2)道路網の整備と桜の枝の除去、および河川堆砂の除去の対応は

佐川勇司 議員……14
(1)高齢者居住施設の取り組みについて

佐藤一夫 議員……15
(1)岡部町政24年間の検証と統括

岡部淳一 議員……16
(1)少子化による教育環境の変化に伴う町の考え方と方向性
(2)国や県に地方の声はどう届けられているのか

議会トピックス②

日本の祭りを撮影中　「ダイドーグループ日本の祭り」の取材で、古殿八幡神社例大祭の準備から本番までを、テレビユー福島が撮影している。区民が祭りを支える姿や伝統文化を記録し、日本の祭りを映像として後世に伝えたいという、「飲料メーカーダイドー」の思いが込められている。11月21日㈮放送予定。
(根本重一)

主要事業

Q 令和8年度の主要事業の進捗は

A コミュニティタクシー運行は模索中



野崎（のざき） 喜彦（よしひこ） 議員

野崎 地域おこし協力隊の確保はどうか。

町長 4月に1名確保。もう1名はホームページで募集中。

野崎 コミュニティタクシー運行の進捗は。

町長 結論に至っていない。県内の先進地視察などで、古殿町にマッチした方法を模索している。

野崎 農業機械導入助成はどの段階にあるのか。

町長 6事業者への補助を採択、3事業者の確認検査を終了した。

野崎 道の駅ふるどの拡張工事の進捗と工事の計画・予定は。

町長 造成工事の完成は、令和9年3月を目指す。建物は積算業務中。

野崎 前木団地の供用開始はいつからか。

町長 8月1日から供用開始している。



鮫川村デマンド交通「さめばす」
（鮫川村役場より提供）

災害対策

Q 防災力の強化と災害対応を

A 各区の対応は今後の検討課題だ

野崎 「古殿町地域防災計画」の改訂の内容は。

町長 土砂災害警戒情報や新たな気象情報の対応が主なもの。

野崎 災害発生時の学校と地域、公共機関、各種団体など連携・協力関係の構築は。

町長 学校で災害対応マニュアルは作成している。小学校は指定避難所であり連携は重要だ。

野崎 災害の種別に応じた避難所の設定・開設が重要だ。その対応策は。

町長 災害の種類により対応は異なると想定している。

野崎 行政区ごとの、災害の規模、被害想定に沿った避難行動計画が必要だ。未整備であるとすればその理由は。今後の対策は。

町長 住民が主体の防災活動計画の普及は、区長会等で改めて周知したい。行政区ごとの対応は、今後の検討課題である。

野崎 8月の関東、北陸地方の記録的な豪雨で発表された災害警戒レベル4、5を教訓にした河川等対策と備えは。

町長 日頃の備えと早期の避難を呼びかける。河川の危険水位などの情報は適時知らせる。



自主防災訓練の様子（田口行政区）

議会トピックス③

田口いきいき健康レクの集い 9月20日(日)女性・若者等活動促進施設で区民130名が田口いきいき健康レクの集いに参加し、楽しい時間を過ごした。講師を招いた「健康体操」で始まり、サイコロの目で決める「上・下どっち?」へと続き、女性限定の種目でコンニャクをビニール袋一杯入れる「詰め放題」は大歓声とともに大いに盛り上がっていた。30代の女性は「初めての参加だったが、とても楽しかった。来年も来てみたい」と話した。(野崎喜彦)



鈴木（すずき）　隆（たかし）議員

業務委託

Q 業務委託しなければならない判断はどのような基準で行っているのか

A 職員が兼ね備えていない専門的な知識を要するものを業務委託している

鈴木　業務委託に頼ることにより見識が削がれる等、危惧されることはないか。

町長　業務の煩雑さが増していく中で業務委託は必要と考えるが、業務を通じて自己研鑽も必要と考える。

鈴木　各担当業務の見識を高めるために行っていることは。

町長　業務の理解を深めるために、業務に関する研修会や説明会等に参加している。

道路維持対策

Q 雑草繁茂で安全確保が難しい町道が見受けられるが認識は

A 時期的に草が大いに伸びるため、作業が追い付いていない箇所もある

鈴木　町内県道においても同様な状況が、車道のみならず歩道部でも多々見受けられるが、町の対応は。

町長　連絡いただいた箇所を県石川土木事務所へ連絡し対応している。

鈴木　町民の善意に助けられている向きもある。今後は厳しい状況と思うが対策は。

町長　先行き厳しい状況とは考えるが、業者と協議しながら検討する。



住民による除草が行われた道路
（松川字陣場地内）

DX対応

Q 自治体DX推進計画の策定から行政業務で効率化されたものは

A 窓口業務でオンライン化が進み効率化が図れた



鈴木　マイナンバー制度を活用したコンビニエンスストア連携行政サービスができないのはなぜか。

町長　国が進める「標準化システム」対応を優先したため、予算計上を見送ることとした。

鈴木　環境保全の観点から、業務上の紙媒体を減らす世情と考えられるがわが町は。

町長　一部の会議では職員がノートパソコン活用により、ペーパーレス化を図っているが、年齢層などにより温度差があり、思うように減らない状況にある。

議会トピックス④

上松川地区公民館事業「健康セミナー」開催　9月6日（日）、全世代参加可能な「上松川区民健康セミナー」がやぶさめアリーナで開催されました。120名を超える参加者により「コグニサイズ」や「カローリング大会」が行われ、会場は参加者の笑顔に包まれました。（鈴木　隆）

人口減少対策



根本（ねもと） 重一（しげかず） 議員

Q 人口減少の分析は

A 減少率が他町村と比較して大きい

根本 出生数を増やすための施策は。

町長 今まで取り組んできた施策を継続する。

根本 進学や就職を機に町外へ転出した若者に、将来本町に戻ってきていただく施策は。

町長 特化した施策はないが、適宜、本町の情報を発信することと考えている。

根本 子育て世帯や若者を町外から呼び込む施策は。

町長 分譲地の販売、結婚新生活支援補助金などの住宅の施策が該当する。

根本 人口減少対策の具体的な数値目標は。

町長 「古殿町人口ビジョン」で目標値を掲げている。



古殿小バケツ稲の稲刈り
（古殿小ホームページより引用）

情報公開と情報発信

Q 必要な情報発信は

A 分かりやすい情報発信に心がけている

根本 町の「公式ライン」を町民目線で活用できないか。

町長 指摘の点を踏まえ、今後さらに検討する。

根本 「選ばれる古殿町」に向けた情報発信戦略は。

町長 具体的なものはないが、古殿町を選んでいただける情報発信を検討する。

根本 一般質問の録画配信を開始したことは。

町長 議会の状況をいつでも確認できることは、意義深いものと考える。

根本 ホームページの更新は。

町長 知りたい情報を見つけやすくなることを第一に、更新作業を進めている。

外部委託

Q 包括的維持管理の導入は

A 今後の業務の参考にする

根本 本町の公共インフラの維持管理は。

町長 橋梁、住宅の長寿命化計画をもとに改修や修繕工事を進め、道路パトロール等により、道路や舗装・水路等の維持管理に努めている。

根本 県が進める「包括的維持管理」の導入を検討しては。

町長 建設業の担い手不足等への対応策として認識している。今後の業務の参考とする。

根本 将来のインフラ維持管理体制は。

町長 現在の維持管理を検証し検討する。



議会トピックス⑤

上山上区の新たな取組 区内の世帯として登録している縫製会社の研修生が、8月15日（土）の上山上盆踊り、8月30日（日）の区民運動会に第7班として参加した。区民との交流を深め、地域に新たな賑わいを生み、行事を盛り上げてくれた。地域の一員としての参加が、区の活性化につながっている。（根本重一）

道の駅事業



松崎（まつざき）　法通（のりみち）　議員

Q 道の駅グランドオープンは

A 令和10年度早期を目指している

松崎　物価の高騰が進んでいるが、事業は今後、インフレを考慮しても補助金と自己資金で賄えるのか。

町長　現時点までの工事費等は予算の範囲内で進捗している。しかし今後発生する建築、外構、備品等の費用については社会情勢の変化による影響で予断を許さないと考える。

松崎　補助率はどれくらいか。

町長　事業費の2分の1が補助され、残りは過疎債の起債で、後々償還額の7割が交付税措置され、実質的な補助率は85％になる。

松崎　ショーケースや冷蔵庫などの付帯備品はどのように考えているのか。

町長　令和9年度の予算編成に向け準備を進めている。



造成工事が進む道の駅ふるどの敷地

インフラ整備

Q 大平川と鮫川合流地点の堆砂除去は

A 県への要望を行っている

松崎　町道陣場辺川線を改良拡幅して、田口地区まで延長する道路網の整備をするべきだと思うが、どのように考えているか。

町長　ふるどのクリニックまでの路線は完了している。事業の必要性は感じるが、現在のところ事業化に至っていない。

松崎　河川堤防に植えられた桜の枝が張り出して、車両の通行に支障がある。張り出た枝の除去は考えているのか。

町長　現状を踏まえて検討する。

松崎　町道竹貫古殿線の改良拡幅の考えは。

町長　平成2年度に測量調査等を実施した経緯はあるが、現時点で事業化の予定はない。

松崎　竹貫千足地内から横小路橋の河川の堆砂や、大平川と寺作橋から鮫川の合流地点までの堆砂の除去を河川管理者にどのように伝えているのか。

町長　県管理河川について堆砂除去の要望を行っている。



雑草に囲まれた寺作橋の橋脚

議会トピックス⑥

流鏑馬の伝統継承　古殿町、県中地方振興局、早稲田大学の三者が伝統文化流鏑馬をいかに継承するか、担い手不足、馬の飼育管理をどうするか等を、大学生の視点を交え探っています。町民の皆さんも流鏑馬継承にご理解をお願いいたします。(松崎法通)

高齢者居住施設

Q 施設活用を今後どう進めるか

A 地域の交流の場として また災害等の緊急時の活用を進める



佐川（さがわ） 勇司（ゆうじ） 議員

高齢者居住施設は入居者募集から5年が経過した。単身世帯が10戸、2人世帯が2戸あり、隣接するグループホームの見守り付きで65歳以上の健常者が利用できる。内外から人が集まり活気あふれる町の核となるよう活性化を目指し、活用に取り組むべきである。



更なる活用が求められる高齢者居住施設（鎌田字若神子地内）

佐川 町内65歳以上の単身世帯と2人以上世帯はどれくらいか。

町長 65歳以上の単身世帯は281世帯で、2人以上の世帯は291世帯。

佐川 町内で緊急搬送車両通行の困難な箇所は。

町長 公道部分の通行困難箇所はないものと認識しており、取付道など個人で管理いただく部分では存在する。

佐川 現在の施設利用は。

町長 単身用に2世帯、2人世帯に1世帯の合計3世帯4名が入居している。

また、集会所は集いの場として地域の方々も利用している。

佐川 利用希望者から利用料金の見直しなどの要望は。

町長 聞いていない。

佐川 今後状況に応じ、町内に留まらず広域的な利用募集など検討されては。

町長 現在のところ現行のままでと考えている。

佐川 施設活用の取組を今後どう進めるか。

町長 町内で高齢者が安心して生活できる居住施設であることはもちろんのこと、地域の交流の場としての活用や、災害などの緊急時の活用を進めていく。



鎌田地区の若神子サロン（町公民館において）

議会トピックス⑦

魚つかみ取り大会 8月15日（土）、今回で30回目となる魚つかみ取り大会が大久田地区越代のサクラ公園で賑やかに開催された。お盆期間中に帰省していた方も多く、300人ほどが参加。子どもたちは夢中でアユやニジマスを追いかけ、ふるさとで夏休みの楽しいひと時を過ごした。（佐川勇司）

岡部町政



佐藤（さとう）　一夫（かずお）議員

Q 岡部町政の検証と総括は

A 町民の支えが原動力

6期24年近くの長きにわたり町政を担ってこられた思いや、町政運営全般を総括的に伺う。

佐藤　長期に町政の重責を担ってこられた原動力は何か。幾多の試練もあったと思うが、町づくりの達成度の手ごたえは。

町長　町民の支えにより今があると思っている。多くの試練等はあったが、ひとつひとつの施策を積み重ねてきた自負はある。

佐藤　様々な施策の中で思い入れがあるのは何か。

町長　就任当初から取り組んだ小学校の統合が思い入れ、やりがいのあった事業である。

佐藤　ハード的施策、ソフト面施策は重要施策だが、中には反省すべき点もあると思うが。

町長　様々な施策を実施してきたが、満足のいく成果だったとは言い切れず、その都度反省すべき点はあったと感じる。



小学校での芸術鑑賞
（古殿小ホームページより引用）

佐藤　長期の担当について、賛否、メリット・デメリットはあると思うが、町長自身の捉え方は。

町長　評価はされる側だと考える。多くの町民の支援により現在まで町政を担当することができたと思っている。

佐藤　過疎、少子高齢化が進んでいる将来像を危惧しているが、取り組むべき課題は。

町長　実施してきた施策の継続と町民がよかったと思える町づくりが大事と考える。



のびのびと活動するこども園の園児

議会トピックス⑧

奉納相撲　9月5日（土）、大久田地区湯殿山神社例大祭で奉納相撲が開催された。土俵では約10人の小学生が作成した紙相撲で熱戦を繰り広げた後、東西力士8人ほど参加して熱い取り組みが行われ、会場は大盛り上がりであった。（佐川勇司）

教育施策



岡部（おかべ）　淳一（じゅんいち）議員

Q 市町村の枠を超えた学校運営は

A いずれは必要になるものと考える

岡部 全国人口減少率10％、県内23町の減少をどう見るか。

町長 県全体で6・6％、古殿町を含む県内23町村で10％以上減少している。

岡部 わが町の人口減少率と少子化の認識は。

町長 町の人口減少率は14・1％で県内59市町村中8番目、年間出生数は10人を下回っている。

岡部 適正規模、適正配置など教育の変化は。

町長 国が示す基準を下回っている。

岡部 市町村の枠を超えた学校運営が必要だとすれば、町の基本的な考え方の方向性は。

町長 いずれは周辺の町村を巻き込んだ検討が必要になる。

岡部 中学校の建て替えは。

町長 検討中。

岡部 大規模災害が頻発している避難所としてのエアコン設置は。

町長 中学校体育館にはエアコンがないため、スポットクーラーで対応。

岡部 地方自治体の変化の中で国と県の役割は。

町長 市町村単独では困難な事務を国などが担うことも視野に役割を再整理すべきとの意見もある。

岡部 今後の町づくりをどうしたいのか。

町長 様々な課題に対応していきたい。



建て替え時期に来ている古殿中

要望活動

Q 喫緊の課題として要望していることは

A 近隣市町村と連絡する道路整備が主なもの

岡部 国や県との話し合いや協議の場はどんな形で設けられているか。

町長 関係機関へ出向く要望活動や、関係者が集まる会議等で協議する。

岡部 協議の場では地方の実情を聞くのか。それとも何か示されるのか。

町長 こちらの状況を説明したり、先方から話を聞いたりと様々である。

岡部 協議の前に石川地方町村会として要望の取りまとめはするのか。

町長 石川地方5町村での要望であれば取りまとめる場合もある。

岡部 大規模災害などの発生に関する要望は。

町長 道路、河川などの災害を予防する事業が中心。

岡部 国道349号未改良区間と県道改良の見通しは。

町長 国道では楢坂工区、才木草地区で旧取付工事、県道ではいわき石川線、松川工区、仙石清水地区で現道改良工事が一部残っており、早期の供用開始を要望している。



改良が望まれる国道349号
（鎌田字長光地地内）

議会トピックス⑨

竹貫正調盆踊り　8月14日（金）、区内各種団体の協力のもと竹貫区民広場で盆踊りを実施した。笛や太鼓の音とともに、老いも若きも踊りの輪に加わり、夜店なども出て大変な賑わいだった。区長をはじめ各種団体の方々、お世話さまでした。（松崎法通）

No.75

追跡レポート その後どうなった?

テーマ 中学校のトイレ改修



温水洗浄便座が必要な生徒も多いよね！

しみもっちー　平成27年の中学生議会で誕生!

Q 令和6年3月一般質問から

中学校のトイレを温水洗浄便座に改修する考えは。

A 町長答弁

新たに改修する考えはありません。

その後

洋式トイレが全て温水洗浄便座に

令和6年6月、12月議会中の常任委員会視察でも中学校のトイレの視察を行った。そこでも温水洗浄便座の設置要望の意見が出た。

中学校にあるトイレ41基中15基の洋式トイレが全て温水洗浄便座になった。

議会トピックスから1枚　議会トピックスの中から選んだ写真を掲載します。



大久田地区　第30回 魚つかみ取り大会（8月15日 土曜日）
30回を迎えた地区のイベントは今年も大盛況だった。

“町政を知るよい機会” 議会を傍聴してみませんか

次回の定例会 **12月 上旬**

古殿町のホームページからもご覧いただけます。

古殿町　検　索 → 町議会へ

古殿町議会

議会トピックス⑩

町内最初の盆踊り　7月11日（土）、夏の風物詩とも言える町内で最も早い盆踊り「永倉神社の奉納踊り」が今年もつつがなく行なわれた。「青空子供会」の会員を中心に笛や太鼓の音を弾ませて、参加者は大きな踊りの輪を描いた。（鈴木　隆）

まちの企業紹介

No.25

今回紹介するのは、「有限会社　しんよし」の皆さんです。

＊会社の設立を教えてください。

大正時代に開業。

大正時代に魚屋として長田由一が竹貫中町で開業しました。

二代目の長田三郎が、当時は珍しい三輪自転車で小名浜の魚市場から魚を仕入れ、移動販売も始め、しんよしの基礎を築きました。

平成５年に三代目の長田眞男が「有限会社しんよし」として法人化し、現在に至っています。



魚の看板を掲げる店舗

＊会社における基本的な考え方は何ですか。

町民の台所としてお手伝い。

食を通じて、お客様には安心安全はもちろんのこと、「おいしいもの」を提供しています。昨今は特に刺身、総菜、仕出しなどを主力にして、町内の皆様の台所としてお手伝いすることにより、地域の皆様に貢献しております。





町民の食卓を彩る商品

編集後記

昨年の国勢調査の結果の公表で古殿町の5年間人口減少率は14・1％との報道がされており、まさに人口減少対策は喫緊の課題である。

本定例会でも同僚議員による、この問題に対しての一般質問があったが、あらゆる施策対応が求められているものと思う。

赤ちゃん誕生祝金は令和8年3月定例議会で条例改正により増額改正されているが、本年度は予算枠に達する見込みとなり、今定例会、令和8年度古殿町一般会計第2次補正予算で増額補正された。

大きな要因は第三子出産が2件あったことと思うが、年度折り返し時期の状況で、さらに増額補正ができるように期待したいところである。

いずれにせよ総合的な施策対応が望まれる。

（鈴木　隆）

議会だより
編集特別委員会

委員長　野崎喜彦
副委員長　鈴木　隆
委員　根本重一
委員　根本太郎兵衛
委員　松崎法通

発行：古殿町議会　編集：議会だより編集特別委員会
〒963-8304 福島県石川郡古殿町大字松川字新桑原31
TEL 0247−53−4621・FAX 0247−53−4511

古殿町のホームページからもご覧いただけます
https://www.town.furudono.fukushima.jp/